

退院支援に関する研修事業について

目的

高齢者等が安心して在宅療養を受けることができる環境を整備するため、入院医療機関において在宅移行支援や医療・介護の連携などに取り組む人材を養成し、地域における在宅療養体制の整備を図る。

退院支援強化研修

■対象者

院内で退院支援・調整業務に携わっている看護師、社会福祉士等(全病院を対象)

※研修1日目の午前中は、上記研修受講者の病院における管理・監督職の受講が必須

■日程

全7日間コースを2回開催

■内容

	第1回	第2回	研修科目	主な内容	主な講師(敬称略)
1 日目	7月2日 (木)	10月16日 (金)	共通研修	・地域包括ケアシステムにおける病院の果たす役割 ・在宅療養移行支援について	・東京都福祉保健局医療政策部 ・東京都医師会 内藤誠二 ・在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子 他
			地域包括ケアシステムにおける自施設の役割	・周辺の地域特性 ・周辺の社会資源 ・自施設の病院機能と役割 ・自施設の課題	
2 日目	7月3日 (金)	10月19日 (月)	暮らしを知る	・高齢者の地域での暮らしと医療(第1回) ・在宅医療の実践(第2回) ・高齢者の暮らしと住まい ・暮らしを知る	・新田クリニック 新田國夫(第1回) ・医療法人アスミス 太田秀樹(第2回) ・三鷹市大沢地域包括支援センター 香川卓見 ・板橋区医師会在宅医療センター 井上多鶴子
3 日目	7月8日 (水)	10月23日 (金)	意思決定支援と倫理	・エンドオブライフケアにおける意思決定支援と臨床倫理	・千葉大学大学院看護学研究科 長江弘子 他
4 日目	7月16日 (木)	10月29日 (木)	病状・病態から考える医療上の検討課題へのマネジメント	・医療チームとの協働、病院、院内連携 ・訪問看護の実践 ・在宅医療・看護にかかる費用と診療材料調達について	・公立福生病院 北浦利恵子 ・田園調布医師会立訪問看護ステーション 田中千賀子 ・山の上ナースステーション 柴田三奈子 他
5 日目	7月17日 (金)	10月30日 (金)	ADL・IADLから考える生活・介護上の検討課題へのマネジメント	・福祉・介護の社会資源活用 ・訪問リハビリテーションについて ・生活・ケア上の課題のある患者のマネジメントと院内外チームとの連携	・帝京平成大学 平岡久仁子 ・山の上ナースステーション 梶原文規 ・JCHO東京新宿メディカルセンター 君島一葉 他
6 日目	5日目と7日目の間		見学実習	訪問看護ステーションにて見学実習	—
7 日目	8月25日 (火)	11月30日 (月)	地域との連携・協働の実践	・退院支援・退院調整の過程と退院カンファレンスの開催方法 ・研修後の行動計画(案)作成	・東京大学大学院医学系研究科 永田智子 他

■参加者：研修受講者 145病院185名、管理監督者 149病院163名、計 348名

退院支援人材育成研修

■対象者

院内で退院支援・調整業務に携わっている又は携わる予定の者

(退院支援専門部署を設置していない病院を対象)

※研修1日目の午前中は、上記研修受講者の病院における管理・監督職の受講が必須

■日程

全4日間コースを2回開催

■内容

	第1回	第2回	研修科目	主な内容	主な講師(敬称略)
1 日目	8月24日 (月)		共通研修	・地域包括ケアシステムにおける病院の果たす役割 ・在宅療養移行支援について	・東京都福祉保健局医療政策部 ・東京都医師会 桑名斉 ・在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子 他
			具体的な取組	・モデル病院の事例紹介	
2 日目	9月3日 (木)	9月25日 (金)	実務的知識を身に付ける	・退院支援マニュアル ・転院支援情報システム ・地域包括ケア病棟、退院支援に関する診療報酬等	・東京女子医科大学看護学部 坂井志麻 ・大久野病院 伊藤正一
3 日目	9月17日 (木)	10月28日 (水)	地域での暮らしを知る	・ケアマネジャーと地域包括支援センターの役割、退院後の住まいと暮らし ・在宅医から見た在宅医療の実践 ・訪問看護の理解	・三鷹市大沢地域包括支援センター 香川卓見 ・新田クリニック 新田國夫 ・田園調布医師会立訪問看護ステーション 田中千賀子
4 日目	10月15日 (木)	11月19日 (木)	地域へのつなぎ方を学ぶ	・在宅療養支援窓口について、サービス調整の流れ・方法、退院前カンファレンス	・杉並区地域包括支援センターケア24松ノ木 渡邊姿保子 他
			実際の退院支援を考える	・グループワーク	

■参加者：研修受講者 72病院94名、管理監督者 71病院74名、計 168名